

## 年頭のあいさつ

鬼北町長 甲岡 秀文

町民の皆様、新年おめでとうございます。

皆様にはお揃いで2011年の輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、鬼北町の行政に対し、温かいご支援とご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年発足した新政権は、これまでの国の基本方針や政策を転換し、地方重視の姿勢を打ち出す中で「地域主権改革は、政権の1丁目1番地」と謳っているところではありますが、実感としては好転しているという域には程遠い状況であると思っております。政治、経済、文化等々あらゆる分野において、都市と地方の間にはまだまだ大きな格差が生じていますし、なによりも国を支える地方がもっと元気にならなければ、国土の発展はないと思料するからであります。

現下の厳しい経済環境や急速な雇用情勢の悪化等が、国民の意欲を削

いでいるという実体を真摯に受け止め、国、県、市町村の将来について、一人ひとりが真剣に議論し行動する必要があると思っております。

さて、新年にあたっての私の抱負ではありますが、鬼北町が誕生して七年目を迎える平成二十三年は、「鬼北町長期総合計画」の後期五年のスタートの年であります。前期五年を検証し「安全で安心して暮らせる活力のあるまちづくり」を実現するためには、何が必要で何が不要なのか、施策の選択を誤ることのないよう緊張感を持って取り組んでいきたいと思っております。

まだまだ社会情勢が不透明で不確実な時期でありますし、町財政も引き続き厳しい状況にあると予想されますが、農林業振興、保健医療対策、教育文化振興、雇用問題など、町民の皆様と直結した施策の実現に情熱と意欲をもって日々挑戦していきたいと思っております。また、今年の干支の「兔」は、慎重かつ温和で清純であり心豊かな天性を持つと言われています。「兔」において象徴される慎重さを發揮